

適用拡大

害虫追加

トマト、ミニトマト  
の  
トマトキバガ

※詳細は裏面でご確認ください。



豊作の女神

殺虫剤

ディアナ<sup>®</sup>  
SC



様々な害虫から大事な作物を守り、豊かな実りをかなえます。

🌙 広い殺虫スペクトラム 🌙 速やかな食害抑制効果 🌙 収穫前日まで使用可能

(使用方法「散布」の場合。ただし稲は収穫7日前まで。)

**【適用害虫と使用方法】**

農林水産省登録 第22910号

有効成分:スピネトラム...11.7%

殺虫剤分類 **5**

2023年9月現在の登録内容(太字は2023年7月5日適用拡大)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用流量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピネトラムを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	コナジラミ類	2,500	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	トマトキバガ	2,500					
なす	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	コナジラミ類	2,500					
ピーマン	アザミウマ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
とうがらし類 しよくようほおずき	アザミウマ類	2,500					
キャベツ	アザミウマ類、コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ウバハエ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類	2,500~5,000	※1	育苗期後半	1回	灌注	3回以内 (定植時までの処理は 1回以内、 定植後の散布は2回以内)
	アザミウマ類	50~200					
はくさい	アザミウマ類、コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ、ウバハエ類、オオタバコガ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
アザミウマ類、ウバハエ類、アオムシ、オオタバコガ、コナガ、シロイチモジヨトウ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	2,500~5,000						
ブロッコリー	コナガ、アザミウマ類、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ	2,500	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
カリフラワー	アザミウマ類、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、ハイマダラノメイガ	2,500					
だいこん	アザミウマ類、コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ、ウバハエ類、カブラハエ、ハモグリバエ類	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
かぶ	アザミウマ類、コナガ、ハスモンヨトウ、アオムシ	2,500~5,000					
非結球あぶらな科葉菜類 (たまねぎ、チンゲン菜、はな菜を除く)	アザミウマ類、コナガ、ハスモンヨトウ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
こまつな	アザミウマ類、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ	2,500~5,000					
チンゲンサイ	アザミウマ類、コナガ、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ヨトウムシ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
なばな類	アザミウマ類、コナガ、ハスモンヨトウ、ハクサイダニ	2,500~5,000					
しゅんぎく	アザミウマ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、ハクサイダニ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
食用ぎく ぎく(葉)	アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類	2,500~5,000					
食用ミニバラ	コナジラミ類	2,500	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	アザミウマ類、オオタバコガ	2,500~5,000					
にんじん	ハスモンヨトウ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
きゅうり	コナジラミ類	2,500					
メロン	アザミウマ類、ハモグリバエ類、ウリノメイガ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
すいか	コナジラミ類	2,500					
かぼちゃ	アザミウマ類、オオタバコガ、ウリノメイガ、ハスモンヨトウ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
とうがん	アザミウマ類	2,500					
たまねぎ	アザミウマ類、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ネギハモグリバエ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
葉たまねぎ	アザミウマ類、ネギハモグリバエ、ハスモンヨトウ	2,500~5,000					
ねぎ	アザミウマ類、シロイチモジヨトウ、ネギハモグリバエ、ネギコガ	2,500	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
にら	ネギコガ	2,500					
にら(花茎)	アザミウマ類	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
にんにく	アザミウマ類	2,500~5,000					
らっきょう	アザミウマ類、ハモグリバエ類	2,500	—	—	1回	30分間種球浸漬	3回以内 (種球浸漬は1回以内、散布は2回以内)
ほうれんそう	アザミウマ類、ハモグリバエ類、シロオビノメイガ、ハクサイダニ、ハスモンヨトウ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
つるむらさき	アザミウマ類、ハスモンヨトウ	2,500					
レタス、非結球レタス	ハモグリバエ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、アザミウマ類	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
いちご	アザミウマ類、ハスモンヨトウ	2,500~5,000					
アスパラガス	コナジラミ類	2,500	100~500ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
アザミウマ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、ジュシホシクビナガハムシ	2,500~5,000						
未成熟とうもろこし	アワノメイガ、オオタバコガ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
かんしょ	アワノメイガ、オオタバコガ	2,500					
ばれいしょ	ハスモンヨトウ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
てんさい	アワノメイガ、オオタバコガ	2,500~5,000					
さといも	アワノメイガ、オオタバコガ	5,000~7,500	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
セルリー	アワノメイガ、オオタバコガ	5,000~7,500					
豆類(未成熟、ただし、さやいんげん を除く) 豆類(種菜、ただし、 たいず、あずき、らっかさいを除く)	アワノメイガ、オオタバコガ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
アザミウマ類、ハモグリバエ類、アザミウマ類	2,500~5,000						
さやいんげん	アザミウマ類、ハモグリバエ類、アズキノメイガ、ハスモンヨトウ	2,500~5,000	100~300ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
たいず	アザミウマ類、ハモグリバエ類、アズキノメイガ、ハスモンヨトウ	2,500~5,000					
あずき	アズキノメイガ	2,500~7,500	60~150ℓ/10a	収穫7日前まで	1回	散布	※2
稲	イネツトムシ、コブノメイガ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ	4,000~6,000					
茶	チャノキアザミウマ、チャノコカクモンハマキ、チャノホソガ、チャハマキ、ヨモギエダシヤク、チャトゲコナジラミ、ニトベミノガ	2,500~5,000	200~400ℓ/10a	摘採前日まで	1回	散布	1回
花き類・観葉植物 (りんどうを除く)	アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類、イラクサギンウバ	2,500	100~300ℓ/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
りんどう	アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類、イラクサギンウバ、リンドウホノハマキ	2,500~5,000					
わた	コナジラミ類、クロバネキノコバエ類	2,500	100~300ℓ/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
	オオタバコガ	2,500~5,000					
樹木類	アザミウマ類	2,500	200~700ℓ/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
	ハマキムシ類	2,500~5,000					

※1:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約3~4ℓ)当たり0.5ℓ ※2:3回以内(直播での場合は種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)

**使用上の注意**

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法にあわせ調節してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。桑葉にかかった場合には使用後約1ヶ月間は蜜に給餌しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にからないようにしてください。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農業用マスク・不浸透性手袋・長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするるとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等とは別のものを洗ってください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう構いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。